

かたやま ゆう こ  
**片山 友子** KATAYAMA Yuko

短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科 准教授

PROFILE 研究者略歴	DATA 主な業績
<p>■学位 博士(応用情報科学)(兵庫県立大学/2014.3)</p> <p>■学歴 武庫川女子短期大学英文科卒業(1980.3)                  兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科博士前期課程修了(2011.3)                  兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科博士後期課程修了(2014.3)</p> <p>■主な職歴 滋賀短期大学特任助教(非常勤)(2008.4)                  大阪国際大学短期大学部非常勤講師(2009.10)                  滋賀短期大学助教(2011.4)                  滋賀短期大学講師(2012.4)                  四国大学短期大学部准教授(2015.4)</p> <p>■専門分野 医療情報学</p> <p>■現在の研究 疾病の早期発見、早期治療に重点を置いた二次予防に加えて、今後に生じる可能性のある疾病を予防・軽減するために、青年期に健康増進、疾病予防に重点を置いた生活習慣の改善を促すことが重要であると考えられる。そのための正しい情報提供や啓発が必要である。また、情報を提供する際に、情報を受け取る側の特性を考慮する必要があり、人の気持ちや態度の変化を考慮した情報提供、教育、啓発のあり方について研究を行っている。</p> <p>■所属学会 日本総合健診医学会、日本医療情報学会、日本医療秘書実務学会、日本ビジネス実務学会</p> <p>■担当授業科目 [学部]                  ゼミⅠ・Ⅱ、医療管理学概論、医療事務総論、医療保険制度、医療事務演習Ⅰ・Ⅱ、医療事務コンピュータ、医療秘書実務、福祉と介護保険制度、介護保険事務、ビジネスコミュニケーション基礎、コミュニケーション演習、ホスピタリティ論</p>	<p>■主な受賞歴 Japan Society of Health Evaluation and Promotion AWARD (2012)</p> <p>■主な研究論文・著書等                  1) The Reduction Rate of Death from Cancer and the Cost of Lung Cancer by Increasing the Cancer-Screening Rate (「共同」 「2012・1」 「International Health Evaluation and Promotion Association (IHEPA), TOKYO」)                  2) 肺がん検診受診率が死亡率および医療費等に及ぼす影響の検討 (「共著」 「2012・3」 「日本総合健診医学会誌 Vol.39, No.2」)                  3) 短大生の子宮頸がん予防のための検診とワクチン接種に関する意識調査 (「共著」 「2013・9」 「日本総合健診医学会誌 Vol.40, No.5」)                  4) 大学生の生活習慣とメンタルヘルスの関連性 (「共著」 「2014・3」 「日本総合健診医学会誌 Vol.41, No.2」)                  5) A change in lifestyle could improve mental health in college students (「共同」 「2014・10」 「International Health Evaluation and Promotion Association (IHEPA) Poster Session, Taipei」)                  6) 大学生のインターネット依存傾向と健康度および生活習慣との関連性 (共著、2016.11、日本総合健診医学会誌 Vol.43, No.6)</p>